

第4回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	平成30年6月21日(木曜日)			開会	9:58	会議場所	別海町議会 委員会室3		
				閉会	13:41				
委員の出欠	2 番	外山 浩司	出席	9 番	沓澤 昌廣	出席	11 番	瀧川 榮子	出席
	14 番	渡邊 政吉	出席	15 番	佐藤 初雄	出席			
出席説明員	産業振興部長	登藤 和哉	建設水道部長	山岸 英一	農業委員会事務局長	中村 公一			
	建設水道部次長	小島 実	農政課長	小野 武史	水産みどり課長	新堀 光行			
	商工観光課長	伊藤 輝幸	管理課長	伊藤 一成	建築住宅課長	田畑 直樹			
	事業課長	小島 実	上下水道課長	外石 昭博	農政課主幹	上田 健一			
	水産みどり課主幹	大坂 恒夫	商工観光課主幹	池田 卓也	事業課主幹	袴田 充輝			
	上下水道課主幹	椋木 直人	農業委員会主幹	岩口 裕昭	農政課主査	寺澤 淳司			
	農政課主査	高津 寛人	水産みどり課主査	清原 裕介	商工観光課主査	堀込 美穂			
	管理課主査	伊藤 武史	建築住宅課主査	入田 浩明	建築住宅課主査	篠田 敬介			
	事業課主査	福原 仁史	事業課主査	佐竹 和仁	上下水道課主査	植松 拓也			
農業委員会主査	廣島 静治								
委員外の出席									
事務局職員	主幹	松本 博史							

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 沓澤	9:58 開会
	開催概要説明 出席委員5名、欠席委員0名
委員長 沓澤	開会あいさつ
	【農業委員会に係る調査】
委員長 沓澤	議事1 平成30年度補正予算について 案件がないため終了
委員長 沓澤	議事2 その他 農業委員会から農業委員会会務の概要説明。
農業委員会事務局長 中村	内容説明 資料に基づき概要説明を行った。 ・委員関係及び事務局など ・予算概要 ・平成30年度活動計画 ・交換分合事業の実績 ・活動実績 ・農用地あっせん指導価格調書 ・賃借料情報 ・家族経営協定の締結状況
委員長 沓澤	質疑
委員 15番 佐藤	年金加入率が5割強であるが、なぜ加入が進まないのか。
農業委員会主幹 岩口	農業者年金協議会において年金加入を推進している。他町村と比べると分母が大きいので加入率は低いが、加入者数は他町村と比べてかなり多い状況となっている。今後も加入を呼びかけていきたい。
委員 15番 佐藤	機会あるごとに加入促進のアピールをしてほしい。
農業委員会事務局長 中村	制度やメリットについてご存知ない方もいらっしゃるかもしれないので、制度のピールと併せて説明していきたい。

第4回産業建設常任委員会 要点記録

副委員長 14番 渡邊	加入促進の窓口が役場であると相談に行きにくい。JAが営農計画などに併せて説明するなど連携の工夫ができないか。農業委員会事務局は、農業者個人ではなく、JAとの連携に力を入れてはいかか。
副委員長 14番 渡邊	29年度の集団化事業の実績がないが、この事実が将来に向けて何を物語っているのか。農業委員会の中で議論はあるか。
農業委員会主幹 岩口	28年度に西部地区で検討した事例はあった。全体的な経営拡大の流れの中で、土地が離れていても問題がないという意向が強まっている一方、動かしていく事業としてかみ合う土地がない状況にある
農業委員会事務局長 中村	農業者年金については、農業委員が各農業者に加入の働きかけを行っている。農協については、協議会組織の中で連携を図っているが、委員の助言を参考に働きかけを行いたい。なお、29年度に35人の新規加入があり、全国4位の高い実績となっている。
副委員長 14番 渡邊	これまでの農地の流動化とは、様変わりした流動化が起きている。力のある人の意向が強くなってきた場合に、農業委員会としてはどのように議論をするのか。これからの時代の土地の流動化に対して、どう対応していくのか。農地の将来に懸念がある。
委員 15番 佐藤	私も危機感を持っている。20キロ、30キロ離れていても農地を取得する動きがある。町外からの購入についても懸念がある。企業的な考えが進むいま、チームワークが心配される。農地機構を通じて土地を動かした実績があるか。
農業委員会主査 廣島	中間処理機構を使って土地を動かした実績はない。
副委員長 14番 渡邊	中立委員1名、この名称は適切なのか。事務局員の人数は。
農業委員会事務局長 中村	農業者以外の中立的な立場で公平な判断を申し立てできる者を1名以上選任することとなっている。職員については、10名となっている。
	10:44 休けい
	10:50 再開
	【産業振興部に係る調査】
委員長 沓澤	議事1 平成30年度補正予算について
産業振興部長 登藤	概要説明
農政課主査 寺澤	酪農畜産担当所管分補正予算内容説明（畜産クラスター事業）
	質疑
副委員長 14番 渡邊	畜産クラスター事業に係る計根別農協1件とは、どの地区の1件か。
農政課長 小野	大成地区の1件である。
水産みどり課主査 清原	みどり担当所管分補正予算内容説明（エゾシカ対策事業）
	質疑
副委員長 14番 渡邊	あらたに中山間を利用とのことだが、各農協で事業の希望をするということか。
水産みどり課主査 清原	その通り。事業主体が農協となる。
副委員長 14番 渡邊	どのように事業を取りまとめているのか気になるが、直接JAに確認したい。
水産みどり課主幹 大坂	水産担当所管分補正予算内容説明（北方水産資源増大対策事業ほか）
	質疑
副委員長 14番 渡邊	北方水産資源増大対策事業の補正減額について今後の対応は。
水産みどり課主幹 大坂	31年度も計画している事業をすべて申請予定。
産業振興部長 登藤	全員協議会で副町長から説明があったとおり、100億円の原資をどのように計画的に使用していくかこれから検討する。
商工観光課主幹 池田	観光・交流担当所管分補正予算内容説明（野付半島ネイチャーセンター整備事業ほか）
	質疑

第4回産業建設常任委員会 要点記録

副委員長 14番 渡邊	<p>職員が行っていた水の運搬を委託するとはどういうことか。 今回運搬する水は、レストラン用ではなくトイレ用の水である。 トイレの利用者増加により水の運搬を委託することとした。昨年度は、11回計約8トン運搬している。今年度は、20回計約30トンと想定している。運搬の頻度が増え、職員の対応が難しいため、委託への切り替えを判断した。 もう少し詳しく水道の環境について知りたい。 ネイチャーセンターへの水道は、標津町から野付半島に所在する番屋向けに設置されているが、冬期間は番屋で水を使わないため、ネイチャーセンターだけの使用では、水道管が凍結してしまう。このため、冬は水道本管から水道水がネイチャーセンターに供給されない。しかし、ネイチャーセンターは、冬もトイレで水を使うため、そのために同施設まで水の運搬が必要となっている。 飲用には使えないということか。7次総合計画に向けて水道の整備をどのように考えているのか。 今回、運搬する水は、トイレ用のため飲用には使えない。今回の補正の対応は応急的なものであり、恒久的な対応は莫大な費用が想定されるので7次総合計画に向けて検討していきたい。 トイレの汚れの課題もあるのではないかと。トイレの管理はどのようになっているのか。 冬に何も食べるものがないのかというご意見に対しては、簡単な食事を提供していくことを検討していきたい。7次総合計画に水道の整備について網羅できるか検討していきたい。 ある自治体では、バイオトイレが設置されていた。一つの目玉として、清掃面も含めて、7次総合計画に向けてきちんと取り組んでほしい。 トイレの環境整備は、おもてなしの基本と考えているので、清掃も含めて努力していきたい。</p>
商工観光課主幹 池田	
商工観光課長 伊藤	
副委員長 14番 渡邊	
商工観光課長 伊藤	
委員 2番 外山	
商工観光課長 伊藤	
委員 2番 外山	
産業振興部長 登藤	
委員 2番 外山	
商工観光課長 伊藤	
委員長 沓澤	議事2 その他
産業振興部長 登藤	産業振興部から産業の動向について説明。 内容説明 資料に基づき概要説明を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・生乳の動向及び乳代 ・農作物の生育状況 ・家畜市場の取引状況 ・酪農家の離脱状況 ・魚種別水揚げ状況 ・イベント実績表 ・ふるさと交流館 ・エコ型住宅の申請分の件数 ・別海町出身者の就職状況
水産みどり課主査 清原	質疑なし 内容説明 資料に基づき概要説明を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・エゾシカ捕獲実績
委員 15番 佐藤	一生懸命駆除の努力をしているが推移は横並びの状況。猟友会の会員の状況は。

第4回産業建設常任委員会 要点記録

水産みどり課主査	清原	<p>平均年齢は上がっているが、若い会員が入会しており、現在75名の会員である。道内の自治体においては、会員が3名というところもある。今後も会員が減らないように関係者と協議していきたい。</p> <p>11:47 休けい 12:59 再開</p> <p>【建設水道部に係る調査】</p>
委員長	沓澤	<p>議事1 平成30年度補正予算について</p> <p>概要説明</p> <p>管理課所管分補正予算内容説明</p> <p>質疑なし</p>
建設水道部長	山岸	
管理課長	伊藤	<p>上下水道課所管分補正予算内容説明</p> <p>質疑</p> <p>今回補正減額となった中止した事業については、いずれ事業を実施するのか。来年度事業の要望を行う予定である。</p>
上下水道課長	外石	
副委員長	14番 渡邊	<p>工事請負契約について</p> <p>質疑なし</p>
上下水道課長	外石	
委員長	沓澤	<p>専決処分について</p> <p>質疑なし</p>
委員長	沓澤	
副委員長	14番 渡邊	<p>議事2 その他</p> <p>空き家対策の一環として、宿泊施設の収容不足の問題の解決策が必要。民泊の動きが報道されているが状況は。</p>
住宅建築課長	田畑	
副委員長	14番 渡邊	<p>市街地の空き家は111件ある。今後、所有者が空き家をどのように活用するか、処理をするかについては、アンケート調査を行い把握する予定である。この結果をもとに、今年度空き家対策に向けての計画を立てる予定である。民泊の件については、所有者の意向が重要であるが、都心部で動きが始まったところなので、田舎においてはまだまだこれからという段階と捉えている。</p>
建設水道部長	山岸	
委員	2番 外山	<p>建てたばかりの大きな家の空き家もある。民泊として活用できそうだが希望調査も必要ではないか。</p> <p>空き家イコール民泊とはならないが、今後、第7次総合計画に向けて役場内部で検討していきたい。</p>
住宅建築課長	田畑	
委員	2番 外山	<p>市街地の空き家が111件ということであるが、野付地区は入っているか。尾岱沼も含めて市街地の空き家は、件数に含まれている。</p> <p>尾岱沼地区の大きな廃屋が気になる。</p>
副委員長	14番 渡邊	
建設水道部長	山岸	<p>市街地だけでなく農家地区も調査が必要だ。子供が近づくと危険なところもある。危険家屋のランク付けなどの管理が必要ではないか。</p> <p>危険な空き家も把握しているが、所有者がいるため評価を公表することが難しいことから、まずは、所有者に危険な状況を説明することとしたい。</p>
副委員長	14番 渡邊	
管理課長	伊藤	<p>私は、本人に示すのではなく、役場が危険家屋の管理をする上で、空き家調査とは別個に危険家屋の度合いを評価しておく必要があるのではないかと考える。</p> <p>地元から相談を受けている事例がある。現在、歩道部分を通行止めにして安全対策を施している。防災担当と協議をしているが法令的な問題もあり改善に向けて前に進められていないようだ。</p>
副委員長	14番 渡邊	
建設水道部長	山岸	<p>1世帯でなく、いくつかある。</p> <p>空き家対策担当の建築住宅課と危険家屋を担当する防災交通課と連携して、ご指摘の問題については取り組んでいきたい。</p>
		【各所管事務に係る調査は終了】

第4回産業建設常任委員会 要点記録

委員長	沓澤	<p>議事3 その他</p> <p>(1)議員提出案件について 意見書について自由討議 討議結果 ・特に反対する意見はなし</p> <p>(2)特定事件（所管事務）の継続調査について 所管事務調査について自由討議 討議結果 ・次のとおり閉会中の所管事務調査を行うこととなった。 ①研修牧場は現地視察 ②バイオガスプラントについても委員会室で調査後、現地視察 ③公営住宅について、西春別駅前団地4号棟を現地視察 ・日程については、所管と調整する。</p> <p>(3)その他 7月2日（月）から視察研修に出発する常任委員会合同アカデミーの事前資料を用意したため、当日までお目通し頂きたい。</p>
自由討議		
自由討議		
事務局主幹	松本	
委員長	沓澤	
		13:41 開会